

## シラバス - 企業経営入門 -

- [▼ 基本情報](#)
- [▼ 科目概要](#)
- [▼ 科目目標](#)
- [▼ 履修前提条件](#)
- [▼ 関連するバッジ](#)
- [▼ 授業教材](#)
- [▼ 期末試験実施方法について](#)
- [▼ 授業時間外の学修と評価について](#)
- [▼ 評価配分](#)
- [▼ 各回の授業内容\(予定\)](#)

### ● 基本情報

学部	IT総合学部
科目	企業経営入門
教員名	馬場 研二
年度 / 学期	2026年度春学期
開講期間	2026/4/3 ~ 2026/8/6
科目履修区分	基礎講義(選択)／専門基礎(選択)／専門基礎(必修)／専門基礎科目
単位	2
科目レベル	1

### ● 科目概要

本科目では、企業経営に必要な基本的知識を学ぶ。内容としては企業経営の知識体系全般をカバーする。具体的には、株式会社の仕組み(株主総会、取締役会などの機関設計を含む)、資金調達の方法、財務諸表の読み方、管理会計、経営戦略、マーケティング、組織のマネジメント、人的資源管理、内部統制とITリスク、技術経営、ベンチャー企業の特性と成功・失敗事例などについて説明する。また、これらの経営に関する基本知識をより深く理解するために、Apple、Amazon.comなどIT関連企業の事例を取り上げる。

【科目コード】BA101

### ● 科目目標

#### 【到達目標】

- ①株式会社の仕組みと企業経営を構成する要素について説明できる。
- ②経営理念、経営戦略、マーケティングのそれぞれの概念と関係について説明できる。

- ③資金調達の方法、財務諸表の種類とその役割を理解し、その企業の概況を読み取ることができる。
- ④管理会計の役割と主要な分析方法について説明できる。
- ⑤組織と人材のマネジメントの重要性とそのポイントについて説明できる。
- ⑥内部統制と企業経営におけるリスク(特にITリスク)について説明できる。
- ⑦技術経営(MOT)と研究開発と特許の重要性について説明できる。
- ⑧ベンチャー企業の特性、マネジメントのポイント、資金調達、ベンチャー企業特有のリスクと回避策について説明できる。
- ⑨同族企業の特徴や事業承継等の課題について説明できる。

※授業科目間における成績評価基準の統一化と修得基準の明確化を目的に、科目目標を履修目標と到達目標に分けて設定しています。履修目標と到達目標の定義は以下の通りですが、最低限身につける内容を表す到達目標のみ設定している科目もあります。

履修目標：授業を履修した人が、授業で扱う内容を十分に身につけたことを表す水準です。履修目標を概ね達成すれば、成績はBに相当します。

到達目標：授業を履修した人が最低限身につける内容を表す目標です。履修目標を達成するには、さらなる学修が必要な水準です。到達目標を概ね達成すれば、成績はDに相当します。

[この科目とディプロマポリシーとの対応はこちらのページから確認してください](#)

## ● 履修前提条件

---

なし

※この科目は、実務経験のある教員による授業科目です。教員の経歴や補足説明は以下の通りです：

企業の経営企画部門に所属し、経営戦略策定や新規事業推進などに15年間携わった実績を持つ。また、個人で経営コンサルティング会社を運営し顧問先企業を指導してきた、企業経営に関する実務経験を講義に活かしている。

## ● 関連するバッジ

---

IT総合学基礎

## ● 授業教材

---

### 教科書 ※購入必須

なし

ツール

なし

※[大学の定める必要環境](#)はご用意ください。

### 参考資料 ※購入任意

題名	著者	出版社	発行年	備考
ざっくりわかる企業経営のしくみ	遠藤 功	日本経済新聞社	2014.04	860円(税別)
ビジュアル図でわかる会社法 第2版	柴田 和史	日本経済新聞社	2021.01	1000円(税別)

その他の資料

## ● 期末試験実施方法について

---

Webテスト形式

## ● 授業時間外の学修と評価について

---

- 各回の授業に臨むにあたり、次回の学習資料から分からぬ専門用語の意味を学内外の電子辞書サービス等を活用して調べるなどして、2時間程度の予習を行いましょう。
- 各回の小テストを受験する前に、授業動画を繰り返し視聴したり、学習資料や学内で利用できる電子書籍や、その他の参考書などを自習したりして、2時間程度の復習を欠かさないようにしましょう。
- 受講後の発展的学習として、シラバスや授業内で紹介する参考図書や関連情報のサイトを熟読してください。

### 【オフィスアワーについて】

本学は通信制のためZoomで対応します。事前にURLを連絡しますので、希望する方は「学生サポートページ」のオフィスアワーフォームからお知らせください。

金曜 17:00～18:00

この時間以外でも対応いたしますのでご連絡ください。

## ● 評価配分

---

ディベート	レポート	小テスト	期末試験	その他	合計
5 %	0 %	50 %	45 %	0 %	100 %

## ● 各回の授業内容

---

回	授業内容および目次	小テスト他	備考(教科書、参考資料等)
第1回	1) タイトル: オリエンテーション  2) 学習目標: この講義の目標、方針、概要を理解するとともに、企業経営の要素をおおまかに理解する。  3) 目次: 第1章 イントロダクション 第2章 企業経営とは何か 第3章 ビジネスマodel 第4章 企業経営入門の構成	・小テスト	
第2回	1) タイトル: 経営理念と経営戦略  2) 学習目標: 企業の理念や社是、ミッション、クレド、ビジョン、価値観、社風、経営戦略、事業戦略などの関係とそれぞれの役割について理解する。	・小テスト	

	<p>3)目次:</p> <p>第1章 経営理念 第2章 ビジョンと価値観 第3章 経営戦略 第4章 事業戦略</p>		
第3回	<p>1)タイトル: 経営戦略論</p> <p>2)学習目標: 主要な経営戦略論として、市場ポジショニング論、コア・コンピタンス論、ビジネスゲーム論、資源ベース論の概要について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 市場ポジショニング論 その1 第2章 市場ポジショニング論 その2 第3章 コア・コンピタンス論とビジネス・ゲーム論 第4章 資源ベース論</p>	・小テスト	
第4回	<p>1)タイトル: マーケティング</p> <p>2)学習目標: マーケティングとは何か、マーケティング・プロセス、マーケティングのSTP(セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング)、マーケティングミックスの4P(製品、価格、流通チャネル、プロモーション)について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 マーケティングの役割 第2章 マーケティングのSTP 第3章 マーケティング・ミックス 第4章 ブランド戦略</p>	・小テスト	
第5回	<p>1)タイトル: 会社の機関</p> <p>2)学習目標: 会社の機関設計について理解する。 株主、株主総会、取締役、取締役会、監査役、会計参与などの役割と、権限・責任について理解する</p> <p>3)目次: 第1章 会社の意思決定の仕組み 第2章 株主と株主総会 第3章 取締役、監査役、会計参与など 第4章 株式の種類と譲渡</p>	・小テスト	
第6回	<p>1)タイトル: 資金調達と財務諸表</p> <p>2)学習目標: 会社の資金調達の方法および財務諸表の種類とそれぞれの表の基本的な読み方を理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 株式の発行と社債 第2章 財務諸表 第3章 損益計算書の仕組み</p>	・小テスト	

	第4章 貸借対照表の仕組み		
第7回	<p>1)タイトル: 管理会計</p> <p>2)学習目標: 管理会計の概念と損益分岐点分析、投資評価方法、原価計算と業績評価の手法について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 管理会計とは何か 第2章 損益分岐点分析 第3章 投資の評価 第4章 原価計算と業績評価</p>	・小テスト	
第8回	<p>1)タイトル: 組織のマネジメント</p> <p>2)学習目標: 組織のマネジメントの基本知識として、企業組織の基本構造のいくつかのタイプ、経営管理論、大企業の支配構造について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 組織マネジメントの重要性 第2章 企業の組織形態 第3章 経営管理論 第4章 大企業の支配構造</p>	・小テスト	
第9回	<p>1)タイトル: HRMとリーダーシップ</p> <p>2)学習目標: 人的資源管理の基礎知識と人事マネジメントの仕組み、リーダーシップ論について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 人的資源管理 第2章 人事マネジメントの仕組み 第3章 リーダーシップ論（1） 第4章 リーダーシップ論（2）</p>	・小テスト	
第10回	<p>1)タイトル: 内部統制・ITリスクと技術経営</p> <p>2)学習目標: 内部統制の概念とその重要性、情報システムに関するリスク、技術革新を促進するための戦略、特許戦略、について理解する。</p> <p>3)目次: 第1章 内部統制とは何か 第2章 ITリスク 第3章 技術経営とは何か 第4章 特許と技術獲得戦略</p>	・小テスト	
第11回	<p>1)タイトル: ベンチャー企業</p>	・小テスト	

	<p><b>2)学習目標:</b> 企業経営におけるベンチャー企業特有の課題とその対処方法について理解する。</p> <p><b>3)目次:</b> 第1章 ベンチャー企業のマネジメント 第2章 ベンチャー企業の資金調達 第3章 ベンチャー・キャピタル 第4章 ベンチャー企業のリスクと回避策</p>		
第12回	<p><b>1)タイトル:</b> 同族経営と事業承継</p> <p><b>2)学習目標:</b> 会社数、雇用者数等で大きな比重を占める同族経営について、その特徴や事業承継等の課題について理解する。</p> <p><b>3)目次:</b> 第1章 同族経営の特徴 第2章 同族経営のマネジメント 第3章 同族経営における課題 第4章 事業承継のプロセス</p>	・小テスト	
第13回	<p><b>1)タイトル:</b> 事例1:Apple</p> <p><b>2)学習目標:</b> Appleの歴史を通じて、IT系ベンチャー企業の創業、急成長期の戦略、リーダーシップ論、イノベーションの役割、競争戦略について理解を深める。</p> <p><b>3)目次:</b> 第1章 Apple誕生 第2章 Apple IIの成功とApple IIIの失敗 第3章 スカリーの時代 第4章 Appleの復活</p>	・小テスト	
第14回	<p><b>1)タイトル:</b> 事例2:Amazon.com</p> <p><b>2)学習目標:</b> Amazon.comの歴史を通じて、ネット系(EC系)ベンチャー企業の経営戦略、戦略転換の重要性、創業者の資本政策などについて理解を深める。</p> <p><b>3)目次:</b> 第1章 Amazon.comの創業 第2章 創業から急成長期の戦略 第3章 Amazon.comの戦略転換 第4章 資本政策と成功要因</p>	・小テスト	
第15回	<p><b>1)タイトル:</b> まとめに代えて：成功した企業と失敗した企業</p> <p><b>2)学習目標:</b> 成功した企業と失敗した企業の違いを学ぶことによって通説や常識を鵜呑みにするのではなく、自分自身で考え方事の本質を見抜くことの重要性を学ぶ。</p>	・ディベート	<p>ディベートに書き込む内容：</p> <p>あなたは、この講義（企業経営入門）で何を学びましたか。</p> <p>「最も重要なと思うもの」</p>

3) 目次:

- 第1章 環境変化と企業経営
- 第2章 失敗した企業の事例
- 第3章 成功した企業の戦略
- 第4章 得られた教訓

および

「最も印象に残ったもの」を書いてください。

【書き込み例】

-----  
この講義で、最も重要な  
と思うものは、○○です。  
それは、○○だからです。

また、最も印象に残った  
ものは、○○です。  
それは、○○だからです。  
-----